

群馬県立女子大学 FLRI Newsletter

Foreign Language Research Institute

外国語教育研究所だより

Vol.28 2016.3.22

グローバル人材育成事業「明石塾」

塾長講義

2月6日、明石塾長は20名の塾生に対し、研修を行いました。今回の研修はすべて英語を使って行われ、塾長による講義の後、塾生からの質問に塾長が答えるという形式で行われました。

まず塾長は、今年2016年には、今後の国際情勢に変化を起す要素として、日本、韓国などアジアの多くの国で選挙、またアメリカでは大統領選挙が行われることを挙げ、とりわけ世界情勢に大きな影響を及ぼすアメリカ大統領選挙について、両党の候補者の特徴などを交えながら具体的に話をしました。続いてISの脅威、欧州に押し寄せる難民・移民問題、EU内部の対立、中東の混乱など世界が直面している難局に触れながら、現在の複雑な国際情勢について説明しました。そして、国連時代に手掛けた和平交渉の経験から、各国が抱える国内事情や他国との歴史的な関係を踏まえた視点で国際情勢を考える重要性を訴えました。

その後、塾生一人ひとりから、国連時代の思い出、日本の政治、イスラム教、日本の英語教育、将来の職業、少子化問題、環境問題など様々な質問や相談が寄せられ、塾長は一つひとつ丁寧に答えながら塾生と意見交換をしました。最後に、塾生の英語の上達を称え、「英語を使う機会は昔に比べてずっと恵まれている。間違いを気にしすぎることなく自信を持って話そう。」と激励の言葉をかけました。



修了式塾長式辞（抜粋）



日本人学生がかつてほど海外へ留学に行かなくなってきていますが、それは日本が安全で居心地がいい国だからだということも原因のひとつであると思います。同時に、国際的な競争力とかグローバルな社会の中で活躍する能力が萎えてしまうのではないかと心配しています。明石塾は群馬県並びに県立女子大学から大きな支援を得て一生懸命やっておりますが、大きな海でのほんの一滴に過ぎないのかもしれない。しかしみなさんは過去8か月の明石塾の研修を立派に成し遂げました。このことにプライドを持ち、研修で得たものを将来活用していくという使命感を持ってもらえたら、それはみなさんやご家族のため、ひいては群馬県、日本そのものにとって長期的に役に立つものと思います。世界は

今、複雑化し混乱しています。大統領予備選挙に垣間見られるアメリカの現状、シリア難民その他の問題を巡るEU内の対立、中東での宗派対立の激化、アジアでも国家同士の相互理解不足、北朝鮮の核問題など、心配なことはたくさんあります。これらを一挙に解決することは難しいけれども、腕をこまねいて何もしないでも許されません。少なくとも事態が一層悪くならないように、それぞれの人がそれぞれの持ち場において考えることが大事です。そのお互いをつなぐもののひとつが英語です。みなさんにも英語を駆使するというレベルにまで勉強してほしいし、同時に深い専門性を持ってもらいたい。そして世界のいろいろな人たちと付き合い仕事をするという多様性に満ちた場面でも、それに怯むのではなく、堂々と対処できる姿勢を持ってほしい。そこでは自分の能力、特徴を活かして全力を尽くすという、基本でまっすぐな態度が何より大事です。14期生が今後も前を向いて、世界を少しでもよくするために、日本をもう少し元気づけるために大いに活躍してくれることを心から祈念しています。

研修報告

明石塾では次のとおり後期研修を行いました。

日付	午前	午後
10月24日(土)	英語研修15・16	東京フィールドワークまとめ、テーマ討論②
10月31日(土)	英語研修17・18	公開研修プレゼンテーション準備
11月7日(土)	英語研修19・20(公開)	野尻彩加氏(明石塾7期生 外務省国際協力局) [講義⑧] (公開)
12月5日(土)	英語研修21・22	海外研修準備(事前研修)
12月12日(土)	英語研修23・24	海外研修プレゼンテーション準備
1月3日(日)~9日(土)	海外研修(学校訪問、企業訪問、フィールドワーク、ホームビジット等)	
1月30日(土)	英語研修25・26	研修まとめ、成果発表会準備
2月6日(土)	研修まとめ、成果発表会準備	明石塾長英語講義 [講義⑨]
2月27日(土)	研修まとめ、成果発表会準備	研修まとめ、成果発表会準備
3月5日(土)	成果発表会準備	研修成果発表会(公開)、修了式(公開)

【公開講義】

11月7日、外務省国際協力局から野尻彩加氏(明石塾7期生)を招いて公開講義を行いました。明石塾で学んだこと、大学時代に打ち込んだこと、外務省での仕事について等、塾生の目線に立った興味深いお話でした。明石塾の先輩という身近な存在である氏の国際分野での仕事の活躍ぶりに、塾生は大いに刺激を受けました。



【海外研修】

1月3日から7日間の海外研修では、マレーシアとシンガポール両国における「多文化主義の現状」について、教育施設や企業訪問、市内フィールドワーク、農村地域でのホームビジットを通して体験的に学習しました。高校訪問では、明石塾研修について英語でプレゼンテーションを行う機会もあり、お互いの文化社会や世界情勢について意見交換をし、交流を深めました。



【成果発表会、修了式】

3月5日、本学において成果発表会が行われ、第14期生21名が5班に分かれ、7か月にわたる研修の様子や、貧困問題、地球温暖化、英語教育をテーマに英語で発表しました。続く修了式では、最後に塾生を代表して前橋女子高校2年の山崎史織さんが「私には通訳や外交官として国境を越えて人と人との懸け橋になりたいという夢があります。これから先、私たちそれぞれが進んで行く道は異なりますが、明石塾で学んだことを存分に活かし、明石塾の卒塾生であることを誇りに思いながら精一杯努力し続けたいと思います。」と述べました。塾長から手渡された修了証書を胸に、塾生達は明石塾で学んだことをさらに発展させ、グローバル社会に通用する人材になるべく、努力を重ねる決意を新たにしました。



明石杯高校生英語コンテスト

11月13日、研究所では群馬県教育委員会、群馬県高等学校教育研究会英語部会との共催で明石杯高校生英語コンテストを開催しました。コンテストは、レシテーション(暗唱)、スピーチ第1部(自作スピーチ)、プレゼンテーション(『Technology in My Life』をテーマにコンピュータを利用した発表)及びスピーチ第2部(海外滞在経験者等による自作スピーチ)の4部門に分かれ、県内予選を通過した生徒を含む73名が日頃の成果を競い合いました。コンテスト終了後は、審査員のマイルズ・デュモントさんから“Introduction to Canada”という演題で講演がありました。各部門の入賞者は次のとおりです。

〈特別賞〉

レシテーション
齊藤 瑞穂 (農大二 2年)
スピーチ第1部
カルラ チエミ (館林女子 2年)
プレゼンテーション
金子 瑛美 (四ツ葉学園 4年)
スピーチ第2部
関口 ベンジリン (館林女子 2年)

順位	部門	レシテーション	スピーチ第1部	プレゼンテーション	スピーチ第2部
1位		星野 幸輝 (四ツ葉学園 5年)	柴崎 はるな (四ツ葉学園 5年)	小橋 あさひ (中央中等 4年)	松浦 芽生 (中央中等 4年)
2位		吉井 卓貴 (高崎北 2年)	山下 心子 (高崎女子 2年)	松浦 愛 (前橋女子 1年)	澤田 シャナイア (桐生女子 2年)
3位		村田 真子 (富岡東 1年)	北原 優太郎 (中央中等 4年)	七五三木 縁 (高崎女子 2年)	古室 文也 (四ツ葉学園 5年)
4位		吉野 恭平 (利根実 2年)	安田 うらら (高崎女子 2年)	青木 友吾 (四ツ葉学園 5年)	
5位		秋山 乃菜 (前橋女子 1年)	宮内 祐亮 (利根実 3年)	李 ハンビツ (共愛学園 2年)	
6位		齋藤 葵 (富岡東 1年)	熊谷 織人 (新島学園 2年)		



小学校英語活動支援事業

研究所では、館林市と連携して小学校の英語活動支援を行っています。

1月29日は、館林市立第八小学校において小学校英語活動推進事業研究発表会が行われました。まず1年生、3年生及び6年生のクラスで公開授業が行われ、続く全体会では研修主任より、研究主題に基づく1年間の実践報告、成果と課題について発表がありました。その後の公開授業研究会では、授業内容について活発な意見のやりとりが行われました。先生方が全員で協力して作り上げた工夫ある授業を通して、児童の皆さんは英語に親しみながら、積極的に先生や友達とコミュニケーション活動を行っていました。

10月と12月には先生方を対象に英語ワークショップを行い、外国人研究員が授業で使えるアクティビティーを紹介しました。



大学高校英語教育連携事業

昨年度に引き続き、伊勢崎高校、沼田女子高校、高崎経済大学附属高校の各校と連携し、英語コミュニケーション研修を行いました。

研究所の外国人研究員を講師に、各校とも「英語による説得力のあるプレゼンテーション」を行うために必要なスキルの習得を目指し、年間3回の研修を通してテーマ設定の仕方や原稿の書き方、効果的な発表の仕方について学習しました。3回目の研修ではこれまでの成果発表として、グループごとに設けたトピックについてディベート形式でプレゼンテーションを行いました。

また2月18日に高崎女子高校で開催された特別講座「国際理解授業」では、外国人研究員に加え、本学外国人留学生2名も講師として参加しました。授業では1学年全クラスに対し、世界の人権問題や貧困問題等をテーマとしたプレゼンテーションを通し、英語による効果的な意思表現やコミュニケーション方法の研修を行いました。



伊勢崎高校



沼田女子高校



高崎経済大学附属高校



高崎女子高校

県民英会話サロン「グローバルカフェ」

今年度は、5月より年間30回の「グローバルカフェ」を開催し、延べ約2,000人の皆さんにご参加頂きました。第2期最終日の12月17日には、「カフェスペシャル」を開催し、本学国際コミュニケーション学部の藤原美優さん、キンジャンリエさんがそれぞれ留学時の体験を英語で発表しました。また群馬大学に留学中のダリバットベイヤーさんもゲストスピーカーとして参加し、出身国であるモンゴルについて発表しました。第3期は会場を本学に移し、毎回異なるテーマを設定するなど変化を持たせ、さらなる発展・充実を図っています。

平成28年度の開催については、4月以降本学のホームページでご案内する予定です。引き続き多数のご参加をお待ちしております。



英語教育講演会

12月19日に研究所では、英語教育における小中高大の連携について具体的にその方策を模索する契機とするため、県内教育関係者を対象に英語教育講演会を開催しました。講師に茂木秀昭先生（都留文科大学文学部国際教育学科教授）をお招きし、先生は「探求型教育手法としてのディベート・アクティブ・ラーニングの小中高大連携を考える」という演題で講演を行いました。

ディベート教育の本旨や効果について説明が行われた後、参加者は実際のディベート活動を体験し、能動型学修であるアクティブ・ラーニングにとって、ディベートは非常に教育的効果が高い手法であること、授業で正しく活用される必要があることについて認識を深めました。講演後は小中高大の先生方から質問や意見が多く出され、さまざまな課題を共有し、教育段階の枠を越えた連携の重要性を意識できた有意義な講演会となりました。



留学支援事業

平成27年度群馬県観光親善学生大使委嘱状交付式

1月20日、本学の海外留学支援プログラムを利用し、春季休業中に短期で海外に留学する学生35名を対象に、群馬県観光親善学生大使委嘱状交付式が行われました。

委嘱を受けた学生は、留学先の大学やホームステイ先などで、群馬県の自然、文化、産業などの魅力をPRすることにより、本県への観光客誘致や国際親善に貢献します。学生代表の国際コミュニケーション学部2年の古井戸美穂さんは、「群馬県には温泉や世界遺産などの観光地をはじめ、古くからの歴史やブランド食材など、どれをとっても非常に魅力的なものがたくさんあります。それらを私たちが自信をもって楽しく紹介したい。」と述べました。



留学帰国報告

本学の海外留学支援プログラムを利用し、毎年多くの学生が留学をしています。学生から帰国後寄せられた感想文より一部をご紹介します。



短期海外研修（語学留学） EV Academy（フィリピン） 文学部英米文化学科3年 K.S.

3週間という短いプログラムであったが、個人的には1日1日が濃く充実してたくさんのお話を学ぶことができた。

1つめは英語力の向上だ。授業はプレゼンテーションが中心であったため、論理的にまとまりのある意見を言うことができるようになり、英語力は非常に向上したと思う。

2つめは異文化理解である。たしかにフィリピンでは日本のような便利さや快適さはあまり感じられない。しかしその一方で、困ったときには手を差し伸べてくれる人にたくさん巡り会い、コミュニケーションや絆を大事にする素敵なお国柄に触れることによって異文化理解が深まったと感じる。

このように英語を海外で学ぶこと、そして現地で暮らすことは、何ものにも代えがたい経験であった。今は自分の短期留学を後押しして下さった方々に感謝の気持ちでいっぱいだ。

長期留学 カリフォルニア州立大学ロングビーチ校（アメリカ） 国際コミュニケーション学部3年 Y.M.

世界共通語とも言われる英語の素晴らしさを改めて知ることができました。アメリカには世界中から勉強のために来ている学生がいて、様々な人種の人に会うことができます。世界中の人たちと意見を交わしあい、新しい見方や知識を得ることができたのは、すべて英語を通じて行ったからです。

また、様々な国の文化を学ぶこともできました。日本にない環境の中で文化の違いを体験し、相手のことを理解し、共生していくことを学び、人間的に成長できたと思います。将来、世界に目を向けていくためにも、本当の意味での相互理解について学ぶことができました。

最後に、一番感じたことはこの留学を支えてくださった方々への感謝です。家族、友人、先生方、事務局や研究所の方々、留学中に会ったホストファミリーや新しい友達、常にたくさんの人と関わり、助けてもらったと感じています。恩返しとして、この留学で学んだことを今後活かせるよう精一杯頑張りたいと思います。

